

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	和幸産業(株)舞鶴II工場	階数	地上1F
建設地	京都府舞鶴市	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	9人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,300時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2020/0725
敷地面積	10,000 m ²	作成者	㈱ヨネダ 塩見
建築面積	2,582 m ²	確認日	
延床面積	2,532 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を剥がしてください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 63%
③上記+②以外の 63%
④上記+ 63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項	
総合	周囲の環境・景観を考慮し、建物を色彩を決定し、前面道路より奥に建物を配置した。工場の運営に関しては各動線を考慮して円滑な事業運営を行う
その他	周辺環境に配慮した施工を行う
Q1 室内環境	採光を確保するためハイサイドの窓を設置し、自然換気も窓、シャッターから常時行う
Q2 サービス性能	十分な空間の高さ、ゆとりを確保した
Q3 室外環境(敷地内)	周辺緑地を確保し、周りの環境に調和するようにな形状・色彩の建物とした
LR1 エネルギー	特になし
LR2 資源・マテリアル	建築基準法・シックハウスによる基準を順守
LR3 敷地外環境	地域環境を配慮した工場計画及び工場運営を行う

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと